

推薦図書

『始皇帝 中華統一の思想』
『キングダム』で解く中国大陸の謎
著者 渡邊義浩(慶応大学教授) 集英社新書 2019年4月

推薦教員
国際言語文化学科教員
周 建中教授

山崎賢人(主人公・信)、吉沢亮(漂、のち秦王・始皇帝嬴政)、長澤まさみ(山の民の女王)、橋本環奈(可愛い奇妙な姿をする猛者)、本郷奏多(クーデターを起こした王弟)、大沢たかお(大將軍王騎)など豪華キャスト出演の映画「キングダム」を見てきた。信と漂の天下の大將軍になる夢(のち中華統一)を目指して努力する姿にとっても感動した。

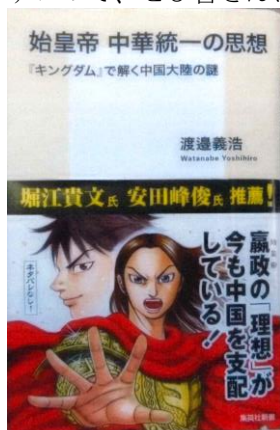
脚本に関わられた原作者、中国の春秋戦国時代末期を舞台にした漫画「キングダム」(「週刊ヤングジャンプ」2006年から連載、集英社、累計発行部数3,800万部)作者の原泰久さんも「仮編集の段階で5回泣いた」ほど(映画のチラシによる)。

なぜ映画を見てきたかという、タイトルの推薦図書は「漫画「キングダム」を題材にした」、「歴史を詳細に研究して描かれている」(著者)ので、推薦文を書くためにはまず漫画「キングダム」を見た方がよいと思ったが、しかし、量的にも時間的にもとても不可能なため、ちょうど映画の上映があって、まず映画を見て、あらすじを把握してから本を拝読して推薦文を書いたわけである。

なぜ2,200年前の始皇帝の時代から中国は殆ど統一国家を続けられ、そしていまは世界最大の14億の人口を有する巨大国家になってきたのか。古代中国史専門家の本書の著者である渡邊先生は歴史上の春秋戦国時代、法家・道家と中華の統一、そして儒教、孔子・孟子、漢字の役割などについてとても分かり易く要点を抑えて整理し説明をなしている。

本書は歴史の勉強になるだけでなく、今日の日本の巨大隣国である中国を理解するためにもとても参考になると思われる。また、世界的にも今日のEUとの状況の比較および「東アジア共同体」がなぜできていないかの理由などについての論述も面白い。

「キングダム」のシーンを引用して歴史地図や系統図も用いて説明している本書(800円+税)はとても面白く読みやすいので、ぜひ皆さんにお薦めしたい。



請求記号 222.041||W 46



夏季長期貸出実施中!!ぜひ、ご利用下さい。